

- 1.MKS 整体院 新宿にオープン! 2.「新・開節法フットケア」発刊!
3.「コアマッスル強化法」&「賢い人は早く治る!」 4.「経絡動法」セミナー開催

ついに「開節法」のホームページができました。ぜひご覧下さい!

<http://www.kaisetsu-ho.com>

1. MKS 整体院 新宿にオープン! ★★★

10年来の夢だった「開節法マシン」による整体院が、(株)ロボメカニクス研究所の協力によって、ついに実現した。まだ機械の台数とスタッフが足りないため、同時に6名しかできないが、いずれは9名が同時に施術を受けられるようになる予定で、そうなると毎日100名以上を施術できるよう



になる。

10月19日から3日間、開節法マシン3種(バックウェーブ+バックシェイプDX+レッグシェイプ)と基本手技(趾回し+足首回し)の無料体験会を行ない、合計133名の方に体験していただいた。施術を受けた大半の方から、終了後に「身体が軽くなった!」「背中が伸びた感じがする!」

といった感想を伺えた。

また、「もっとこうした方がよい」というご意見を多数いただきました。その貴重なご意見を基に、無料体験会が終了してから約10日間で、様々な改良を行った。

最も大事なものは、セッティングである。「バックシェイプ DX」は、腰のエアセルのトップが胸椎11番（胸郭下端）に当たって、胸椎側エアセルが肩甲間部の中央（脊柱）に当たるように、位置を正確に合わせないといけない。また、「バックシェイプ DX」をするときは、「バックウェーブ」をはずさないとも効果が半減してしまうことが分かった。

「バックウェーブ」は、揺動部の中心が仙骨の下端に当たるようにセットすることが重要で、仙骨の上部に当てると効果が半減してしまう。



レッグシェイプ

一番苦労したのが「レッグシェイプ」のフィッティングである。手技の「ふくらはぎ揺動」と同じく『脚全体が動かないで、ふくらはぎだけが揺れる』ようにするには、『太腿裏の固定』と『カカトの固定』が不可欠であることが試行錯誤して分かった。そこで、「レッグシェイプ」に太腿を支えるボードとクッションを取り付け、カカトを固定する足台を作った。

さらに、マシン終了後に手技に移るときに、「レッグシェイプ」を脚まくらと取り替える作業が思いのほか大変で、「レッグシェイプ」のまま手技ができるように工夫した。

MKS 整体院は、『低価格で短時間に、仕事の疲れが取れる』ので、仕事帰りに最適な治療室である。

通勤途中に看板を見て立ち寄ったSEの25歳の男性は、「今までいくらマッサージを受けても肩コリがなくなったことはなかったのに、揺らすだけでコリがすっかり消えてしまうなんて驚き！」と絶賛！

また、どこの整形外科や治療院に行っても治らない症状でも、頻りに背骨とふくらはぎを揺らすことで、交感神経の緊張を緩めて、全身の血流を急速に改善できるので、治る可能性は十分ある。

体験会ですっかり病み付きになったある女性は、その後も毎日通い続けて、「わずか1週間で、体中の毒素が全部出た感じがする！」と証言してくれた。

治癒力を高めるには、まず背骨（交感神経）の緊張を緩めることが先決であり、それには背骨を軽く揺らせばよいのである。また、充血や炎症を解消するには、脚に停滞したリンパ液を上半身に戻せばよいのであって、それにはヒザを曲げてふくらはぎを揺らせばよいのである。

つまり治すには、薬や食事の改善だけでは不十分で、身体を揺らして『緊張を緩め、血流を改善する』ということが不可欠なのである。その揺らしを機械で簡単にできるようにしたのが、「開節法マシン」なのだ。

「開節法マシン」が受けられる治療院情報は、開節法ホームページに掲載している。

ホームページには、MKS 整体院の施術光景と「毛管現象」のデモ映像が、間もなく配信される。



開節法の手技

MKS 整体院で、松原秀樹の治療が受けられます！

予約が満杯で、2年前から原則的に初診の方をお断りしてきましたが、下記日時に MKS 整体院にて、20 名様を施術（脊柱オイルマッサージ&全身矯正）いたします。

ご希望の方は、MKS 整体院にご予約下さい。

日時：11月16日（日）13時～18時（12時開院）

場所は、MKS 整体院（西新宿 8-2-25 -6F）TEL：03-5937-4315

治療代は、（桜ヶ丘整体院と同じ）1万円。

2. 「新・開節法フットケア」発刊！★★★

3年半前に出版した「開節法フットケア」を、大幅に書き直して、装い新たに出版された。

「傷や炎症が治っていくしくみ」や「リンパ液の中に存在する治療部隊」など、治すために不可欠な知識も書き加えてある。また、「松原整体塾の卒業生の声」も載せてあるので、これから開節法を学びたい人にとって参考になるだろう。

『新・開節法フットケア』松原秀樹著（知道出版）定価¥1,575(税込)

3. 「コアマッスル強化法」&「賢い人は早く治る！」

10月25日の「コアマッスル強化法」には、全国から40名の方が受講された。

「とても面白くて、あっという間の4時間だった！」「手の向きを変えるだけで、こんなに力が強くなって、肩や腰の負担が減るなんて、まるでマジックみたいだ！」「カカトで押すようにするだけで、階段を上がるのがこんなに楽になるなんて信じられない！」「足首を回すだけで、身体が温まって首が緩むなんて驚き！」などといった声を多く聞いた。

受講者の大半が、「腰やヒザの痛みを治したい」という要望を持って参加された。いくら整形外科や治療院に通っても治らないのは、生活の中で毎日している『原因』が変わらないからだ。悪いと知らずに、身体に悪いことを毎日し続けているのだ。姿勢が悪く、血糖値が上がる食生活をして、運動もしないで、夜更かしをしていて…治るはずがない。治したければ、まず自分の原因を知ることである。

ヒザが痛い方は、大抵せっかちな性格をしている。だから、“顔から突っ込むように”前のめりで歩く。その結果、つま先に体重が乗って、着地の衝撃がヒザの皿を襲うことになる。炊事の時も流しに寄りかかって、つま先に体重を乗せる。しゃがむ時もカカトを上げて、つま先に体重を乗せる。このように“つま先に体重をかけて”いて、治るわけがない。

痛いから痛み止め（消炎鎮痛剤）を使ったり、歩かないで安静にしたりしていると、脚の血流がますます悪くなる。すると軟骨細胞の弾力性が失われて、剥離するようになる。そして、剥離した軟骨の破片が滑膜に当たって激痛が起きる。これが、関節炎が起きる基本的なメカニズムだ。さらに、痛み物質サイトカインによって軟骨細胞が死滅していき、軟骨が消失して、変形性膝関節症になる。つまり、**歳のせいではなくて、歩かないから膝の軟骨がなくなってしまう**のである。

また、血糖値が上がる食生活と脚腰の筋肉萎えが、動脈硬化を進行させて、脚腰の血流を悪くして、腰痛やヒザ痛を起こす。

肩コリや胃下垂も、脚の血流を悪くして、やはり腰痛やヒザ痛の原因となる。

また、寒い部屋に寝ていることも、腰が沈むスプリングベッドで寝ていることも、腰痛やヒザ痛の原因となるし、合わない靴も、下腹部の傷跡も、歯周病や噛合せの不良も、腰痛やヒザ痛の原因となる。症状から解放されるには、そういった原因を正す必要がある。

腰痛やヒザ痛に限らず**どんな病状でも、治すにはまず「何が原因なのか」を知ることが先決**なのだ。ところが、それを教えてくれる病院や治療院はない。何が原因か知るには、知識が必要だ。それを教えるためのセミナーが、「合気ウォーキングによるコアマッスル強化法」と「賢い人は早く治る！」である。治したい人は、受講しよう！

『賢い人は早く治る！』11月22日（土）14:00～17:00 定員：40名

『コアマッスル強化法』1月24日（土）13:30～17:30 定員：40名

主催・問合せ・申込み：朝日カルチャーセンター（新宿）TEL：03-3344-1947

4. 「経絡動法」セミナー開催★★★

力を相手の芯に伝える基本から、経絡を使った動きの応用まで、私・松原秀樹が直接指導する。「力の質と偉力」が劇的に変わる！手技や介護、武術やスポーツに、応用無限。

経絡の動きについては、「秘伝」2009年1月号に掲載予定。

日時：2009年1月12日（月・祭日）2時～5時

場所：MKS 整体院（西新宿 8-2-25-6F）

受講料：5万円

定員：30名（先着順）

問合せ・申込み：（有）体質研究所 TEL 042-670-0138 FAX 042-670-0089

体質研ニュースは、3ヶ月毎に発行しています。次回は来年1月の予定。